

平成20年度食品の安全・安心リスクコミュニケーション（意見交換会）の概要

【目的】

消費者と生産者、行政による食品に関する意見交換会を行い、食品安全確保に関する情報を共有し、相互理解を深めることを目的に実施。

【対象者】

消費者：生協会員、PTA関係者、生活学校会員、食生活改善推進員、食品ウォッチャー等

生産者：農林漁業者、製造加工流通業者等

【実施結果】

開催回数：全9回 参加者総数：507名

実施日	実施地区	テーマ	研修施設	参加者数	主な意見
H20.9.2	県南	農産物の安全・安心確保	圃場直売所	消費者 19名 生産者 7名 行政 11名	・残留農薬の検査について ・エコファーマーについて ・外国産野菜の安全性について ・野菜の表示(無農薬、生産者名など)について ・地産地消について
H20.9.9	五島	水産物の安全・安心確保	水産加工場	消費者 11名 生産者 5名 行政 10名	・養殖魚の安全性について ・水産加工場の安全対策について ・学校給食への納入状況について
H20.10.31	西彼	農産物の安全・安心確保	圃場	消費者 13名 生産者 9名 行政 8名	・トレーサビリティについて ・残留農薬について ・学校給食の地産地消、教育ファームについて ・エコファーマーについて
H20.11.17	県央	食肉製品の安全・安心確保	ウイナー手作り体験	消費者 20名 生産者 4名 行政 6名	・本社工場、体験教室の衛生管理について ・食肉の検査について ・輸入原材料の安全対策について ・加工品の表示について ・イノシシや鹿など、と畜場で処理されない食肉の加工について
H20.12.17	長崎	食品の安全性に関する地域の指導者育成講座	-	78名	内閣府との共催により、以下を実施 ・講演「食品安全のためのリスク分析について」 ・演習「ゲーミングシミュレーション(クロスロード『食の安全編』)」
H20.1.27	長崎	みんなで考えよう！食品添加物の安全性	-	114名	・食品添加物の安全性、必要性、表示について ・食品添加物の一日許容摂取量について ・菓子(飴)に使用する着色料について
H21.2.5	県央	加工食品(豆腐製品)の安全・安心確保	豆腐工場	消費者 14名 生産者 4名 行政 7名	・原料大豆の安全性について ・国産大豆の自給率について ・加工品の原材料表示について
H21.2.9	県北	農産物の安全・安心確保	圃場製茶工場	消費者 15名 生産者 1名 行政 9名	・有機農業について ・有機JASについて ・茶の成分や効能について
H21.2.26	長崎	遺伝子組換え農作物を知るためにinながさき	-	142名	・遺伝子組換え技術について ・遺伝子組換え農作物の安全性について ・遺伝子組換え農作物の現状(品目、輸入量など)について